Creative Enzymes®

ネイティブヒトカルボキシペプチダーゼB

Cat. No. NATE-0151

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カルボキシペプチダーゼB（またはペプチジル-L-リジン（-L-アルギニン）ヒドロラーゼ）は、ポリペプチドのC末端位置から基本アミノ酸であるリジン、アルギニン、オルニチンの加水分解を触媒します。これは34 kDaの単一ポリペプチドであることが示されています。トリプシンは、天然酵素を活性酵素であるカルボキシペプチダーゼB IIにin vitroで□換することができます。最適pHは9.0であることがわかっています。この酵素は、C末端の基本アミノ酸の連続的な切断による配列解析に使用される場合があります。また、急性膵炎の診断のための血清マーカーとしても使用できます。
用途	Creative Enzymesのカルボキシペプチダーゼは、ラットの前葉および中葉由来の溶解した下垂体顆粒におけるカルボキシペプチダーゼ活性の測定の基準として使用されています。この酵素は、C末端の塩基性アミノ酸を除去することによって血漿サンプルを消化するためにも使用され、C4電気泳動中に各アロタイプのための明確なバンドを得ることができます。
別名	カルボキシペプチダーゼB; プロタミナーゼ; CPB1; 膵臓カルボキシペプチダーゼB; 組織カルボキシペプチダーゼB; ペプチジル-L-リジン [L-アルギニン]ヒドロラーゼ; EC 3.4.17.2; 9025-24-5

製品情報

種	人間
由来	人間の膵臓
形態	0.05 M NaOAc pH 5.0 + 1.0 M NaCl + 0.01% NaN3の溶液
***EC*番号**	EC 3.4.17.2
***CAS*登□番号**	9025-24-5
活性	50-55 ユニット/mg タンパク質カルボキシペプチダーゼB
代謝□路	膵臓分泌、特定生物体のバイオシステム；膵臓分泌、保存されたバイオシステム；タンパク質の消化と吸収、特定生物体のバイオシステム；タンパク質の消化と吸収、保存されたバイオシステム
機能	カルボキシペプチダーゼ活性; 金属イオン結合; メタロカルボキシペプチダーゼ活性; メタロペプチダーゼ活性; ペプチダーゼ活性; 亜鉛イオン結合
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 7.7の条件下で1μmoleのヒッピュリル-L-アルギニンを1分間に加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C